

4 社史（会社史）

【社史（会社史）とは？】

「会社が自らの責任において発行しているその会社の歴史書」のこと（『日本大百科全書』より）。当該企業・業界の沿革や時代ごとの状況が分かる。

【質問例】

Q. NEC の歴代役員を一覧できる資料はないか。

→都立図書館蔵書検索（OPAC）でキーワード＜日本電気（正式名称）＞、文献識別＜団体史＞で検索。

【都立図書館で社史を探す】 ※現在の会社名でない場合あり

- ①都立図書館蔵書検索（OPAC）で文献識別＜団体史＞を選択し、キーワード＜（検索する会社名）＞を入力して検索。
- ②キーワード＜（検索する会社名）＞等で検索。適宜「史」「周年」「あゆみ」等と掛け合わせて絞る。

【社史（会社史）】

<図書>

■『社史で見る日本経済史』既刊約 100 巻＋別巻（ゆまに書房）復刻版 [請求記号は巻で異なる]
日本近現代の会社史のうち、高い実証性と資料的価値を備える書を復刻したもの。都立図書館蔵書検索（OPAC）でタイトルとキーワード＜（検索する会社名）＞を掛け合わせて検索すると、ヒットする。都立図書館では所蔵していない巻があるので注意。

別巻『日本社史名著解題』に収録されている「大日本銀行会社沿革史」（東都通信社 大正 2 年刊の復刻）では、明治から大正元年までに設立された企業の情報がわかる。社史の年表部分を抜き出した『産業別「会社年表」総覧』全 40 巻（ゆまに書房）もある。

なお、自社のホームページで会社の歴史を公開している企業も多い。

例：Honda「本田技研工業 75 年史」

<https://global.honda.jp/guide/history-digest/75years-history/>

【会社の沿革をまとめた資料】 ※別会社（出版社）がまとめたもの

<図書>

■『日本会社史総覧』上・下巻・別巻（東洋経済新報社）1995 [D/3354/3212/]
日本の主要企業約 3,000 社の概要・歴史を 1 ページ、半ページ程度で簡潔にまとめたもの。別巻（資料・索引編）に人名・事項・社名等索引がある。

■『近代日本会社史総覧』上・下巻（日本図書センター）復刻版 2012 [R/335.4/5635/]
『日本会社史総覧』（経済往来社 1954 刊）の復刻。「日本産業発達史」「日本会社史」の 2 部構成。当時の日本の主要企業約 1,000 社の概要・歴史をまとめたもの。上巻の巻頭に社名索引がある。

【社史を調査するのに役立つツール】

<図書>

■『企業名変遷要覧』『企業名変遷要覧 2』（日外アソシエーツ）2006, 2015 [R/335.2/5238/]
2006 年版は、国内主要企業 4,317 社の社名変遷を一覧にしたもの。続編の「2」には、それ以降の新規上場企業を含む 3,169 社を収録している。巻頭に業種別一覧、巻末に社名索引がある。

■『会社史総合目録』増補・改訂版（日本経営史研究所）1996 [R/3354/298A/96]

各企業・団体が発行している社史・団体史のタイトル、発行年（月）等の書誌情報がわかる。

【外国企業の社史を探す】

<図書>

 『International directory of company histories』（St. James Press）（DRF/335.4/I61）

世界の有力会社について、1 社ごとに数ページの分量で、その会社の歴史が掲載されている。最新刊の巻末に全巻を通した会社名の索引がある。

【他の図書館で社史を探す】

国立国会図書館のほか、神奈川県立川崎図書館で多く所蔵している。

 「県立川崎図書館のコレクション>社史コレクション」（神奈川県立の図書館）

<https://www.klnet.pref.kanagawa.jp/find-books/kawasaki/shashi-shiryo/>

神奈川県立川崎図書館で収集している「社史コレクション」。会社史・経済団体史・労働組合史約2万冊を所蔵している。神奈川県立の図書館 OPAC で検索可能。

<インターネット>

 「渋沢社史データベース」（渋沢栄一記念財団）

<https://shashi.shibusawa.or.jp/>

明治以降日本で出版された社史のうち約1,600冊について、書名・目次・索引・年表等のデータを採録している。社史詳細画面には「国立国会図書館サーチ」「CiNii Books」「Worldcat」へのリンクがあり、所蔵機関を確認できる。